

CONTENTS

2008
7

地盤工学会誌

Vol.56 No.7 Ser.No.606

土と基礎

- 口絵写真 | センサーアジアと地すべり早期警戒システムの紹介
二酸化炭素地中貯留
講座「不飽和土・不飽和地盤」
5. 不飽和地盤の調査事例

特集テーマ：耐震対策・設計法の最前線

総 説	エンジニアは謙虚であれ—神戸地震からの13年を振り返る	1
	●片山 恒雄	
論 説	原子力学会地震 PSA 実施基準と新原子力耐震指針への活用	8
	●蛭沢 勝三／日比野 憲太	
	ダムの耐震設計法の変遷と現状	12
	●岩下 友也	
	海外の耐震設計—基準類に見る動向	16
	●井合 進	
	断層と社会基盤施設の課題	20
	●小長井 一男	
報 告	緊急地震速報と鉄道におけるその活用例	24
	●芦谷 公稔	
	新潟県中越地震における鉄道路構造物の被害と復旧	28
	●谷口 善則／森島 啓行／齋藤 貴	
	東海地震に対する静岡県内の公共建築物の耐震化	32
	●大石 武司	
(投 稿)	中越・中越沖地震後の橋台等付近で見られた段差被害	36
	●福田 誠／木村 智博／鄭 光司／稲場 友也／坂上 敏彦／吉泉 直樹	
技術紹介	海洋堆積層での二酸化炭素を用いたメタンハイドレートの採掘の可能性	40
	●池川 洋二郎	
寄 稿	廃棄物を排出資源にする世代	42
	●渡邊 保貴	
	シンガポール国立大学での短期交換留学経験	44
	●小出 哲也	
資 料	室内試験関係基準の一部改正案について	45
	●地盤工学会基準部	

複写をされる方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先:(中法)学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

電話 (03)3475-5618 FAX (03)3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡下さい。

アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

学会の動き (ISO だより)	グラウンドアンカー欧州統一基準:設計, 施工, 試験の各基準間の 整合に関する議論—第7回 CEN/TC341/WG4 パリ会議参加報告— ●地盤工学会 ISO 国内委員会	60
国内の動き	舘山 勝会員が紫綬褒章を受賞 ●垂水尚志	61
	小峯秀雄会員「平成20年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)」を受賞 ●安原 一哉	62
	内村太郎会員「平成20年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞」を受賞 ●東畑 郁生	63
海外の動き	センサーアジアと地すべり早期警報システムの紹介 ●本多 潔	64
技術手帳	二酸化炭素地中貯留 ●駒田 広也	65
講座	関西国際空港の建設と地盤工学的諸問題 5. 関西国際空港における地盤挙動の計測 ●江村 剛/森川 嘉之/先森 弘樹	67
	不飽和土・不飽和地盤 5. 不飽和地盤の調査事例 ●小松 満/西村 拓/竹下 祐二	77
地盤工学 ジャーナル の紹介	「地盤工学ジャーナル Vol. 3, No. 2 (2008年6月発行)掲載論文の概要 ●地盤工学ジャーナル編集委員会	84
Soils and Foundations の紹介	「Soils and Foundations」Vol. 48, No. 3 (2008年6月発行)掲載論文の概要 ●論文報告集編集委員会	86
	会告: 会員登録データご確認ならびに更新のお願い	88
	近着の市販雑誌から, 新入会員	89
	編集後記	90